

有機農業の取組支援

県南農林事務所つくば地域農業改良普及センター

有機農業を志向する新規就農者等の栽培技術習得や販路確保に関するニーズに対応し、つくば地域の有機農業を振興するため、地域で活躍する農業三士や有機農業経営者等の協力を得て、関係機関と連携して研修会を開催しています。また、有機農業経営者の経営管理や栽培技術について情報収集を行うとともに、栽培技術の現地実証を進めることにより、新たに取り組む有機農業者を支援し、将来的には農業者が生産販売等で連携できるネットワークの構築を目指します。

就農希望者等の研修受入や 農業学園の先進事例研修

新規就農者の農業経営に関する知識と技術習得のため、「つくばいしだファーム」において「農業学園土づくり講座」を開催しました。有機農業を実践する石田代表から、土壌診断に基づく土づくりや、堆肥・緑肥の活用方法について説明があり、参加者からの質問が相次ぎました。また、同ファームは就農希望者の研修を積極的に受け入れています。



図1 石田代表の説明に聞き入る参加者



図2 有機農業実践者と参加者のグループワーク

有機農業支援研修会の開催

つくば地域有機農業支援研修会を初めて開催し、有機農業を始めたい農業者や就農希望者 33 名が参加しました。当地域で活躍する有機農業実践者を招き、グループワークで参加者からの栽培技術や販路開拓など幅広い質問に、具体的な事例を交えて丁寧にアドバイスをもらいました。

参加者が現地圃場で栽培技術が学べるよう、次回開催に向けた企画を立案しています。

水稻有機栽培技術確立及び導入推進

水稻の有機栽培実証圃を設置し、緑肥による施肥代替効果や、アイガモロボとウィードマンを組み合わせた除草防除効果を検討しました。

経営試算の結果、有機米は、慣行区より最大 34,282 円／10 a の所得向上効果があることが明らかとなりました。

技術支援した 2 経営体の水稻有機栽培面積は、1.5ha（令和 6 年）から 4 ha 程度（令和 7 年）に拡大する見込みです。



図3
ウィードマン
による除草

図4
アイガモロボ
による雑草の抑制

